

うりずんとは…「潤う」と水が土にしみとおる「染む」からなる言葉で、沖縄の若夏をあらわします。さわやかな南風が吹き、野山は緑にあふれます。うりずんのようにやさしい風に包まれて、ゆったりとした時間を過ごしていただきたいという思いから名付けられました。

桜と風と

特定非営利活動法人うりずん
理事長 高橋昭彦



<日本在宅医学会>

2013年3月末に、松山市で第15回日本在宅医学会が開かれました。参加者は3,000人を超え、その様子はNHKの7時のニュースに取り上げられるほどでした。

小児在宅医療のシンポジウムでは、療育、障がい児を取り巻く歴史、リハビリ、訪問看護、福祉、在宅緩和ケアなどの視点からの広く、深い発言がありました。子どもと家族の在宅生活を支え、豊かにしていくためには、いのちを守る医療や、いのちを育む看護だけでは十分ではなく、暮らしを支え広げる福祉との協働がとても大切です。地域で暮らす子どもと家族に、あたたかな眼差しを向ける人が増えてきていることを実感した一日となりました。写真は、学会初日の朝に訪れた松山城です。



松山城と満開の桜

<同級生との再会>

もう一つ、楽しみにしていたことがありました。友人・重川洋一さんとの再会です。共通の友人であるKさんのお蔭で、10数年ぶりの再会が実現したのです。

重川さんは、小児科医として活躍していた30歳の若さで、脳幹部梗塞となり、四肢麻痺、言語障害、視覚障害の状態となりました。すぐに意識は回復しましたが、体は動かず意思も伝えられない状態が続きました。やがて兵庫の病院でリハビリを受け、わずかに動く手指で2つのスイッチを操作し、テレビやエアコンなどは自分で操作ができるようになりました。今では、電動リフトで車いすに乗り移り、伝の心(でんのしん)というソフトを使って、自宅でパソコン、インターネット、メールや俳句を楽しんでいます。

重川さんは、コミュニケーションの手段を使えるようになってから、回復までのことをエッセイで綴っています(*)。そこに書かれていることは、病気や障がいのある人に関わるものとして、胸に刻んでおきたいものです。

<コミュニケーションの大切さ>

残る障がい(四肢麻痺・言語障害)がはっきりしてきた頃、重川さんのお母さんが図書館から借りてきたものがあります。ベッドサイドにお母さんが持ってきたのは、一寸法師の紙芝居でした。お母さんは、どんな思いで我が子に紙芝居を読み聞かせたのでしょうか。しゃべれない様子から、頭もおかしくなってしまったと思ったのも無理はありません。しかし、重川さんが意識を失ったのは、病気になったその日の夜だけです。つまり、それ以降は、自分で会話はできなくとも、耳は聴こえ、周りで起こっていること、話されていることはわかっていたのです。

重川さんは、パソコンが使えるようになってから、「**どんな重い障がいをもつ人であっても、自分の周りで起こっていることは、よくわかっているのではないか**」と述べています。

重い障がいをもつ子ども、認知症のお年寄り、そして亡くなる手前の臨死状態の人も、周りで起こっていることはちゃんとわかっていると信じて接したいものです。

重川さんは、いろんなやり方でコミュニケーションを試みてきました。そして、双方向のコミュニケーションが成功するたびに、体全体にみなぎる不思議な力を感じました。これには、コミュニケーション機器だけでなく、なんとかして自分の意思を読み取ろうとする人の存在も重要です。

<おわりに>

重川さん、ご家族との語らいの時間はあっという間に過ぎました。メールでやり取りをしても、通信をお送りしても、生で会うライブにかなうものはありません。重川さんとご家族、Kさんに感謝です。

帰る前、重川さんから「三線は持ってこなかったのか」「僕は島唄が好き」と、痛いところを突かれました。次の機会までに、島唄を練習しておきましょう。

再会の後に、重川さんから俳句が届きました。

しもつけ 下野の 香り運びぬ さくらこち 櫻東風 洋一

*Youichiのホームページ

<http://homepage2.nifty.com/shigekawa/>

元気いっぱい 新・うりずんスタッフ

新しいスタッフも入り、
より一層パワフルになりました！
みんな本当に個性豊かなスタッフです。
気軽に声かけてください。



みんなの作品

NHK総合テレビで紹介されました!

2013年1月24日にうりずんがNHK「首都圏ネットワーク」で首都圏に放送されました。

うりずんの日頃の活動の様子や、医療的ケアの様子、高橋理事長のうりずんに対しての想いと、うりずんの現状、そして、うりずんを利用されている大野様の声がテレビを観ていた多くの視聴者の方の心に届きました。

撮影日はうりずんスタッフも利用者様も見慣れない大きなカメラに緊張気味な様子でしたが、優しいNHKの方に次第に慣れて楽しく活動をしました。

テレビで放送されると沢山のお電話や、お問い合わせを頂



き、ご寄附が集まりました。「頑張ってください」「応援しています」など、寄附者の皆様からの暖かいメッセージに私たちも、心が癒されました。応援、ご支援誠にありがとうございました。(うりずん一同)

映画会を終えて

2013年3月20日(水・祝日)、ドキュメンタリー映画「普通に生きる～自立をめざして～」の上映会を行いました。この映画はどんな重い障がいがあっても、地域の中で普通に暮らしていくこと。そのような社会を目指すために、静岡県富士市で子どもの家族達が立ち上がり、ゼロから通所施設を作り上げるまでの5年間を追った映画です。

今回、縁あって平成24年度地域医療に係る県民共同事業補助金をいただくことができ、晴天の中、宇都宮美術館で上映会を開催いたしました。プロデューサーの貞末麻哉子様も来場していただき、上映終了後に熱い想いを語ってくださいました。

さらに参加された多くの方々が、映画を観ての感想を書いてくださいました。その中には「私たちの『普通』と障がい

児者の『普通』の違いを知りました。」「支えあうことの大切さを実感しました。」「新しい自分を見つけた!」と感動の言葉をくださった方もありました。



貞末さんと対談

この様なお言葉を頂戴できると開催してよかった! と思えますし、映像の力ってすごい! と実感しました。この映画が、もっともっと全国にひろがっていくことを願っています。

(ひばりクリニック 綱川 充弘)



春めいてきました

(今回の「普通に生きる」の映画会でたくさんのアンケートをいただきました。その中から、少しご紹介いたします。)

- 利用者の皆さんの笑顔がとても素敵でした。
- 重度の障がい者も自立していく存在であることを痛感させられました。普通に生きていける社会をつくっていくのはやはり私たち一人一人の力の結集であり、人の思い・熱意によって社会を変えられると思います。
- 「普通」ってその子らしく生きることなのかな? と最近になって分かってきました。本日は貴重な機会をありがとうございました。友人にも是非見せたかったです。

うりずん役員紹介



- 名 前：吉岡 毅 (よしおか・たけし)
- 経 歴：大阪府出身。中央大学法学部を卒業。裁判所書記官等を経て、平成4年弁護士登録(第一東京弁護士会)。平成11年吉岡毅法律事務所を開設。
- 尊敬している人：
誠実で勤勉な人。
- 休日の過ごし方：
ドライブ、犬(ラスク、雑種)の散歩、パソコンの組立てなど。
- うりずんに対する思い：
これまで高齢者の介護(成年後見、介護事業者の相談、アドバイス等)に携わってききましたが、柚崎理事を通じてうりずんを知り、何かお役に立てるのであれば、ということで参加しました。息の長い活動ができるよう、サポートしていきたいと思えます。

日中一時支援事業(レスパイトケア)
サービス提供責任者 山元 朋子

うりずん日記

すっかり春らしい温かな季節となりました。

昨年の今頃、NPO法人うりずんの開設に向けて慌ただしく過ごしていたのが、随分と昔のように思えます。NPO法人として事業を立ち上げ一年…。振り返ると本当に濃厚な日々を送らせていただきました。

ひばりクリニックの併設事業所として営業していた日中一時支援事業をはじめ、居宅介護事業や助成事業も同時に進行しました。その間、職員の退職による人員不足といった危機的な問題を抱える時期もありましたが、ようやくこの春に、新人職員が入職し、ほっとしている次第です。

うりずんの保護者様には、期待をさせてしまった分、不安も大きかったと思います。今でも思い出すと胸が痛みますが、この一年、日中一時支援事業を事故なく安全にお預かりできたのは、応援してくださった保護者様のおかげであると思っています。この場を借りて通信でお礼を言わせてくださいね。ありがとうございます。そして今年度も温かく見守ってくださいね。

まだまだ人員不足は解消されていませんので、引き続き職員を募集しております！ご興味のある方は是非うりずんまでご連絡お待ちしております。

さて、春といえれば利用者様も就園、就学、社会人と人生の中の大切なイベントがあります。

経験の幅がぐっと広がるであろう、ワクワクする季節です。今年度も皆様の成長を傍でみれると思うと本当に嬉しくて幸せです！！

これからも笑顔いっぱいうりずんでありますように…。

日中一時支援事業

●平成25年1月～3月のご利用状況 (人)

1月	2月	3月	合計
55	68	67	190

* いずれも延べご利用人数です

●平成25年1月～3月のご来所状況 (人)

	1月	2月	3月	合計
見学者	0	5	9	14
ボランティア	1	1	1	3
計	1	6	10	17

●現在の登録状況………23名

* 登録ご利用者の年齢 ……………1歳～20歳

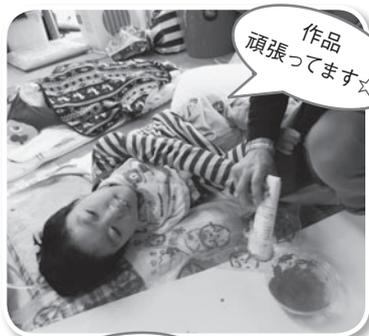
* 現在契約準備中の方 ……………0名

居宅介護事業

●現在の登録状況………4名

* 現在契約準備中の方 ……………0名

※詳細につきましては、ひばりクリニックHP「うりずん活動報告書」をご参照ください。



うりずんの仲間たち

名前：鶴見 有希
(つるみ・ゆうき)さん

学年・年齢：18歳(3月で高等部を卒業)

好きなこと：嵐のDVDを見ること。

ipadでYouTube・ゲームをしたり、DSでゲームや写真を撮るのにはまっています。

嫌いなこと：ありません

うりずんってどんなところ? :

友達がいる楽しい。

最後にメッセージ：小さい子が好き。

4月からNPO法人ルヴァンに通い、自然派パン工房ハートベリー(パン&焼き菓子製造・販売)のお仕事をします。よろしくお願います。



名前：山井真沙実

(まあちゃん、まさちゃん)さん

学年・年齢：年長 5歳

好きなこと：ツリーチャイムやすずで遊ぶ 抱っこ お風呂(大好き)

嫌いなこと：寝ていること 歯磨き

うりずんってどんなところ?! :

うりずんを利用して8カ月になりました。スタッフの皆さんはいつも笑顔がたえず、利用者も少人数なのできめ細やかなサービスを受ける事ができるので安心して預ける事ができます。まさみにとってうりずんは、お友達と遊んだり、体操したり、楽しくて居心地のいいところのようです。家族には「ホッ」と一息つける癒しの時間を与えてくれるところですよ。

最後にメッセージ：これからもよろしくお願います。





新年うりずん餅つき大会



なに? この感触?!

今 回も、宇都宮市社会福祉協議会より「平成 24 年度歳末助け合い運動配分事業」の交付金をいただきました。スタッフの中で話し合い「新年のイベントがしたい!」という意見が多く、たくさんの方の中から「新年 うりずん餅つき大会」を開催しました。

餅つきに使用する可愛い臼と杵、お正月の雰囲気を出すために各利用者様の生まれ年の干支根付けを交付金で購入しました。

*

日 中のお預かりの中でのイベントだったので、出来るだけ多くの方に参加していただくために、4回の予定を7回に増やして行いました。



二人で力を合わせて!

餅つきの経験のない方がほとんどだったので、初めは臼や杵を見て「何をするの?」と不思議そうな顔をされていた利用者様でしたが、かけ声をして餅をついていると楽しくなってきたのか次第に笑顔になり、自分から杵を

持ってつこうとされていた。

利用者様の中には、全く参加できなかった方、逆に毎回のように餅つきに参加されプロ級に上達された方もおられました。

スタッフも、もち米の蒸す時間や臼と杵の準備等、日を追うごとに上達していきました。



お餅になってきた~

今回は、参加できなかった利用者様も出来る限り参加できるように日程を調整します。

*

交 付金で楽しい餅つき大会になりました。また、もち米は、御子貝荒江様よりご寄贈いただきました。ご支援ありがとうございました。

(齋藤 志津香)

。。。新しいスタッフの紹介。。。



佐藤 英治

●はじめまして。
1月15日より、うりずんで働くことになりました佐藤英治(さとうえいじ)です。

以前は保育園で計3年半働いて、去年1年間は劇団に所属し全国を回って公演をしてい

ました。うりずんのご利用者様には日々色々勉強させていただいております。ご利用者様に「うりずんに今日来てよかったな!」「明日も来たいな!」と思ってもらえるように頑張っていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。



荻野目 恵

●1月8日からうりずんでお世話になってます荻野目恵(おぎのめめぐみ)です。

私は声が大きいので結構遠くからでも話しているのが分かるようです。趣味は読書です。比較的何でも読みます。

まだまだ至らないこともありますもうりずんのみならず仲良く楽しく過ごしていきたいと思います。



我妻 英司

●4月1日より事務を担当することになりました我妻英司(あづまえいじ)と申します。これまで様々なNPO法人の

事務局で働いてきました。

微力ではありますが、認定NPO法人の取得に向けて少しでもお役に立てればと願っています。どうぞ、よろしくお願い致します。

看護師募集中

●うりずんでは、看護師を募集しております。
障がい福祉分野を経験された方やこれから経験したい方で、うりずんの事業に関心のある方……是非うりずんで一緒に働きませんか?!

事業内容

医療的ケアが必要な子どものレスパイトケア、ホームヘルプなど。
訪問看護に関心のある方もご一報下さい。
詳細はうりずんまでお問い合わせください

連絡先▶ ☎028-601-7733 (水・日・祝祭日はお休みです)

編集後記

今年度もスタートして新たな第一歩。うりずんは、皆様のたくさんの笑顔に支えられて日々前進しています。

これからも、皆様にうりずんの素敵な出来事が伝えられるよう頑張っていきたいと思っております。応援のほどよろしくお願ひ致します。

佐藤 英治



うりずん通信・テレマカー

第 5 号 2013年 4月20日発行

<http://hibari-clinic.com/urizn/index.html>

《編集・発行》 特定非営利活動法人 うりずん
〒321-2118 栃木県宇都宮市新里町丙357-14
TEL: 028-601-7733 FAX: 028-665-8899
Mail: urizn@hibari-clinic.com

《デザイン・印刷》 デザインスタジオ アクセス

NPO法人うりずん寄付者名簿 (敬称略) 平成 24 年 12 月 31 日～平成 25 年 3 月 31 日 (到着分)

ご寄付 5,214,500 円をいただきました。ご支援ありがとうございました。

■一般寄付者 延べ 92 名 (うち匿名希望 15 名)

*掲載順は都道府県の50音順になっております。

福島 水戸市 斎藤 祐司	小山市 仲村 天平 佐野市 鴨澤 千尋	白岡市 新井 マチ子 本庄市 坂本 喜久枝 和光市 浅野 政子	町田市 小林 保子 東久留米市 竹内 良助 小平市 小坂 美津子
茨城 つくばみらい市 岡本 香	栃木市 岡泉 ゆみ子	千葉 我孫子市 森田 茂生 四街道市 久米 倫男 市川市 金屋 友子 習志野市 深川 正子 千葉市 櫻井 開之	神奈川 三浦郡葉山町 小高じゅん子・光夫 横須賀市 荒井 麗子 横浜市 青山 正子 永田 幸雄 本塚 幸雄
栃木 宇都宮市 新井 裕子 石塚 由典 大塚 啓子 粕田 晴之 小林 満里子 斎藤 公則 佐藤 明 佐藤 ミチ子 関根 直久 高柳 慎八郎 長 重光 戸村 清治 奈良 クニ工 成澤 哲夫 矢吹 清人 小山市 長井 弘子	日光市 石川 恵子 大嶋 洋子 加藤 浩治 齋藤 久男 戸田 一美 檜木田 その 矢野 一雄 さくら市 寺脇 立子 下野市 増田 卓哉	東京 江戸川区 嵯峨崎ゆう子 清水 勝利 足立区 小渡 均子 村田 君江 港区 加藤 高 世田谷区 上原 靖之 渡邊 文子 文京区 山崎 展子 大田区 森山 優子 多摩市 楠本 郁子 西東京市 西川 義昌	鎌倉市 村松 豊子 相模原市 坂本 滋 藤沢市 平元 詢二
	群馬 高崎市 千 康夫		山梨 甲府市 小林 邦子
	埼玉 さいたま市 竹石 悦子 上尾市 勝地 京子 川西市 川西 桂子 川越市 小川 雅洋		滋賀 栗東市 北川 貢嗣
			奈良 明日香村 武田 以知郎
			香川 丸亀市 松岡 真里

■賛助会員 63 名 (うち匿名希望 8 名)

栃木 宇都宮市 阿久津 敦子 新井 裕子 伊藤 みち子 粕田 晴之 加藤 はるみ 佐藤 幸子 篠崎 幸治 助川 勉 鈴木 春代 関根 直久 高柳 慎八郎 田中 利子 奈良 クニ工 成澤 哲夫 二階堂 浩 増子 孝徳	宇都宮市 渡辺 史織 渡辺 光子 小山市 仲村 天平 鹿沼市 下妻 和彦 下野市 増田 卓哉 佐野市 鴨澤 千尋 日光市 大嶋 洋子 大野 敦史 松尾 由記	市川市 箕輪 弘美 箕輪 竜 箕輪 良行	東大和市 宇野 朝子 八王子市 大村 茂
	埼玉 さいたま市 箕輪 力志 川越市 小川 雅洋 本庄市 坂本 喜久枝 和光市 浅野 政子	東京 江戸川区 清水 勝利 足立区 村田 君江 板橋区 桜井 敏子 中央区 ガルモーロ 裕子 文京区 山崎 展子 武蔵野市 遠藤 泰弘 国分寺市 広瀬 文子 小平市 小坂 美津子 西東京市 西川 義昌 町田市 小林 保子 東村山市 箕輪 久子	神奈川 横浜市 本塚 幸雄 相模原市 坂本 滋 鎌倉市 村松 豊子 藤沢市 平元 詢二
	千葉 我孫子市 森田 茂生 市川市 箕輪 葉海		山梨 甲府市 小林 邦子
			京都府 箕輪 啓太
			奈良 明日香村 武田 以知郎
			香川 丸亀市 松岡 真里

■団体会員 3 団体 (うち匿名 2 団体)

千葉 印西市 ウイングヒルチャペル

お知らせとご支援のお願い
5月から会員の更新を行います

*うりずんは、お陰様で 2013 年 4 月末で 2 事業年度を終えます。5 月より新事業年度が始まります。今後ともご支援下さいますようお願い申し上げます。(理事長 高橋昭彦)

ご支援のお願い

事務処理上の関係で大変恐縮ですが、必ず賛助会員・寄付申込書をうりずん宛に F A X または郵送でお送りください。

用紙はホームページ (http://hibari-clinic.com/shiryo_box/file/urizun_kifu.pdf) に掲載しております。(または、F A X でご連絡いただければ、用紙を郵送いたします。)

入金ならびに申込用紙をこちらで確認できた後に、領収証をお送りさせていただきます。

【記入上のご注意】

必ず、申込者のお名前、ご住所、申込内容ならびに金額、匿名希望について記入していただきますようお願い申し上げます。

○賛助会員のお申し込みの場合

個人年会費 または 団体会年会費 のどちらかを選択してください。

○一般ご寄付のお申し込みの場合

- ①一般寄付 (使途自由)
 - ②スロープ車うりぼう号の購入
 - ③子どもと家族のための地域拠点整備
 - ④外出支援 (修学旅行など)
- の中から一つを選択してください

【各種振込先のご案内】

*振込み手数料は別途ご負担をお願い致します。

ゆうちょ銀行<ゆうちょ銀行からのお振込み>

口座番号: 00110-4-441471

口座名: 特定非営利活動法人うりずん

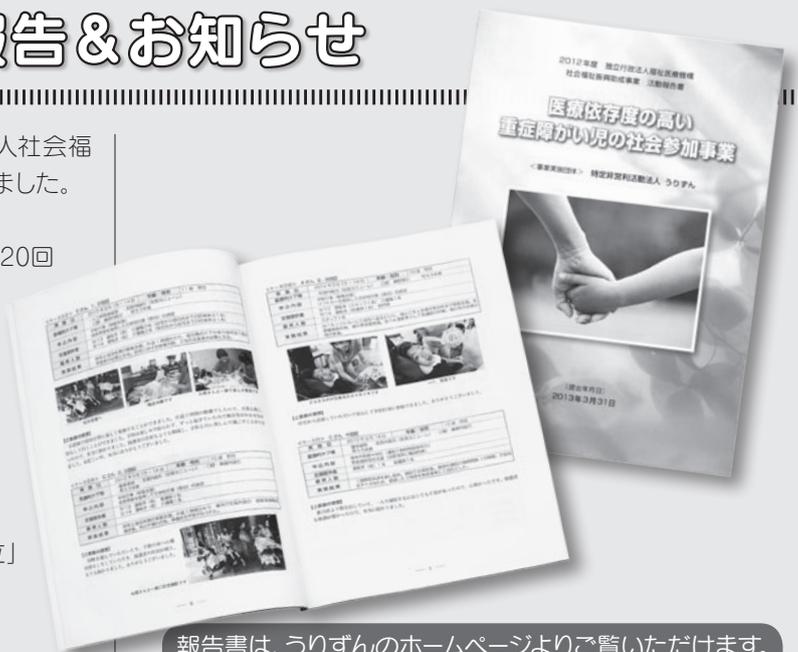
<ゆうちょ銀行以外からの振込み>

〇一九店 (ゼロイチキュー店) 当座: 0441471

WAM助成事業報告&お知らせ

2012年5月からはじまった、WAM(独立行政法人社会福祉機構)助成事業の報告書を平成25年3月に提出しました。

1. 社会参加を目指す外出支援活動 支援回数:延べ20回
 - ・学校行事のための移動支援及び現地ケア
 - ・通院介助
 - ・事業所への送迎
2. 学習会の開催
 - ・平成24年9月30日(日)
 - 第1回学習会「外出は社会参加!!」
 - ・平成24年12月2日(日)
 - 第2回学習会「重い障がいをもつ子どもの自立」
3. 「家族で外出を楽しもう! クリスマス会」
 - 平成24年12月16日(日)
4. うりずん通信「テレマカシー」の発行



報告書は、うりずんのホームページよりご覧いただけます。
<http://hibari-clinic.com/urizn/index.html>

これらの活動に対してWAMの助成金には大変お世話になり、さまざまな支援ができました。また、医療的ケアが必要とする重度の方への支援の課題なども沢山見えてきました。このWAMの助成のお陰でうりずんは大きく前進し、これか

らもうりずんは進化し続けます。最後にこれらの活動を支援して下さいましたWAMと、協力して下さいました事業所の皆様、利用者様、ボランティアの皆様にご心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



スロープ車大活躍です(事業所への送迎)



何でもお応えします(第1回学習会)



模擬ケース検討会(第2回学習会)

3月下旬、春まだ浅い日光を訪れました。日光街道を東照宮に向けて歩いていくと、神橋(しんきょう)のある交差点の少し手前の左側に三ツ山羊羹本舗があります。明治28年創業以来、百年以上の間、ようかんだけを作り続ける老舗です。

日光にはいくつかの和菓子の老舗があり、それぞれのお店に水ようかんがあります。



しかし、小豆の素材としての味を楽しめるといふ点ではこの三ツ山のようかんはお勧めです。日光の名水をふんだんに用い、国産の厳選した材料を使った水ようかんは、1本2.5cm角の角柱で長さがおよそ9cm(定規でおおまかに測定)。深みの

ある藤色のような半分の大きさをほおばると、口の中で小豆の香りが広がり、幸せな瞬間がやってきます。地元の方から教えていただいた一品です。

【お店情報】

三ツ山羊羹本舗 日光市中鉢石町

※このコーナーは、各地の美味しいものを、主観的なコメントでご紹介するものです。随時、情報やレポートは募集いたしますが、採否はお任せください。(高橋 昭彦)



**NPO法人うりずんでは
 通信発行を支援くださる
 協賛企業様を
 随時募集しております。**

「うりずん通信・テレマカシー」は年4回の発行となります。1回の発行費用に、印刷・郵送代などで15万円ほど必要となります。(1口2万円) そこで、広告代として通信発行を支援していただける協賛企業様を募集いたします。

次号掲載のご希望の方は、6月中旬までにNPO法人うりずんまでご連絡ください。皆様方のご協賛・ご支援を宜しくお願い申し上げます。